

(別紙)

地域サポート計画(新規就農者向け)

(令和5年5月現在の情報)

都道府県名	岡山県	市町村名	吉備中央町	問合せ 窓口	(組織名) 吉備中央町農林課 (住所) 岡山県加賀郡吉備中央町豊野1-2	(電話) 0866-54-1318 (メールアドレス) nourin@town.kibichuo.lg.jp
-------	-----	------	-------	-----------	---	---

第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)			
	令和5年度		令和4年度		令和3年度			令和2年度		
		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下	
新規就農者数(必須)	5	3	7	7	5	5	5	4		
内 訳	新規参入者数	5	3	7	7	5	5	5	4	
	新規自営農業就農者数									
	新規雇用就農者数									

注1:「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2:「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3:「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	サポート体制一丸となり、就農希望者を包括的にサポートすることで、就農希望者がスムーズに就農できるよう努める。
地域と農業の紹介文	小規模な兼業農家が多く、中山間地域特有の条件不利地であるため農家の耕作意欲が削がれ、耕作放棄地は前計画策定時から年々増加している。また、総農家数も減少傾向にある。
主な農産物	本町における水田農業では、水稻栽培が耕地面積の半数を占めており、黒大豆等の豆類も転作作物として数多く作付されている。本町における園芸農業では、吉備高原の冷涼な気候を活かしたピオーネ栽培が盛んである。
地域が求める新規就農者	地域の中心経営体となり、地域農業の将来を担える農業者。

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	備前広域農業普及指導センター、岡山市農業協同組合、晴れの国岡山農業協同組合	販路支援	岡山市農業協同組合、晴れの国岡山農業協同組合
農地確保支援	吉備中央町農業委員会	生活に係る支援 (住居、子育て等)	吉備中央町定住促進課、子育て推進課
機械・施設等の確保支援	岡山市農業協同組合、晴れの国岡山農業協同組合	事務局・全体調整	吉備中央町農林課
資金相談	日本政策金融公庫岡山支店		
農業者による指導	地域のぶどう農家(親方)		

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	○ 就農・移住相談対応、就農相談会の開催	東京・大阪など都市圏で開催される就農・移住相談会等に参加・出展する。
	○ 就農体験ツアー・インターンシップの実施	岡山県就農オリエンテーション等の受入を行い、親方農家の元で体験研修を実施する。
	○ ホームページ、パンフレット等での情報提供	岡山県農林漁業担い手育成財団のホームページと連携し、情報提供する。
	その他	
就農前の支援	○ 研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	吉備中央農業公社と連携し、新規就農者に対して実務研修を実施し、就農の促進を図る。農地の利用管理や農作業受委託を通じて、優良農地の保全継承や生産組織の育成及び中核的担い手農家の育成確保に努める。
	○ 就農計画作成サポート	備前広域農業普及指導センターと連携し、就農計画作成を支援する。
	○ 農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	吉備中央町農業委員会と連携し、農地、施設・機械のあっせんを行う。農業協同組合及び日本政策金融公庫と連携し、営農資金の相談を受ける。
	○ 販路確保、販路開拓に向けた支援	農業協同組合と連携し、農産物の産地化、ブランド化を進め、生産量の拡大を図る。また、資材の安定供給に努めつつ、新たな流通ルートを確保することにより販売力強化にも取り組む。
	○ 生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	吉備中央町定住促進課及び子育て推進課と連携し、新規就農者の生活全般を支援する。
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	<input type="radio"/>	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	備前広域農業普及指導センター及び農業協同組合が実施する研修会への参加を促すことで、生産技術・経営力の向上を図る。
	<input type="radio"/>	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	吉備中央町農業委員会と連携し、農地、施設・機械のあっせんを行う。 農業協同組合及び日本政策金融公庫と連携し、営農資金の相談を受ける。
	<input type="radio"/>	販路確保、販路開拓に向けた支援	農業協同組合と連携し、農産物の産地化、ブランド化を進め、生産量の拡大を図る。また、資材の安定供給に努めつつ、新たな流通ルートを確保することにより販売力強化にも取り組む。
	<input type="radio"/>	地元農家や地域住民との交流促進の取組	人・農地プランへの参加を支援することで、地元農家や地域住民との交流を促進する。
	<input type="radio"/>	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	吉備中央町定住促進課及び子育て推進課と連携し、新規就農者の生活全般を支援する。
		その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
岡山県が開催する就農オリエンテーション等の参加者を受け入れ、産地の現状、支援制度を知ってもらう。	吉備中央町での就農を希望する場合は、1ヶ月間、親方農家の元で農業体験研修を受けてもらう。 その後、就農へのビジョンや強い意思、農家の適正があるかなどを面接会で見極め、農業実務研修を受講することが適当であると認められる場合は、最長2年間の農業実務研修へ進んでもらう。	就農後は、適宜、サポート体制で就農状況を確認することで、支援を行う。

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	200 万円	年間労働時間	1200 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
果樹専作	ピオーネ簡易被覆	25 a	1.8 t/10a	売上 400 万円	専従 1 人	1,200 h/年	
		a		経費 200 万円	パート 1 人		
				所得 200 万円			
主な施設・機械等	ビニールハウス	a	動力噴霧機	1 台			
	簡易被覆施設	25 a	バックホー	1 台			
	加温機	台					

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

--

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

別添: 交付対象者のサポート体制

交付対象者のサポート体制

部門	氏名又は職名
経営技術・資金	備前広域農業普及指導センター
経営技術・資金	岡山市農業協同組合
経営技術・資金	晴れの国岡山農業協同組合
農地	吉備中央町農業委員会
資金	日本政策金融公庫岡山支店
農地	岡山県農地中間管理機構
経営技術・農地	ぶどう農家

※部門欄には、「経営・技術」、「農地」、「営農資金」のいずれかを記入する。